

放射線被曝と子どもの健康

真実を明らかにして正しい理解のために

日時 平成25年3月9日(土) 13:00~17:00

会場 聖徳大学香順メディアホール

千葉県松戸市岩瀬550

JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩5分

参加費
無料

定員 170名(事前申込不要)

主催 聖徳大学児童学研究所 **後援** 松戸市教育委員会、市川市教育委員会、柏市教育委員会、取手市教育委員会

講演

● ヨード摂取と甲状腺がん予防の真実

—日本人のヨード摂取傾向からわかること

原田 正平 (聖徳大学兼任講師、国立成育医療研究センター成育医療政策科学研究室長)

● 放射性ヨードが健康に及ぼす影響の真実

—治療に使う放射性ヨードの影響からわかること

吉村 弘 (伊藤病院内科部長)

● 放射線被曝と子どもの将来の健康の真実

—福島とチェリノバイリの比較からわかること

高田 純 (札幌医科大学教授(放射線防護学))



内容

第7回子どもの発達シンポジウムは、「放射線被曝と子どもの健康—真実を明らかにして正しい理解のために」をテーマに開催します。

東日本大震災に伴う原子力発電所事故の影響で、多くの国民が放射線の危険にさらされています。また、ホットスポットの存在や甲状腺がんへの影響なども報道されています。特に、子どもの甲状腺がんは、最も心配なことの一つだと思います。甲状腺がんの発症には、ヨードの摂取量、被曝線量・期間、年齢などが関係します。シンポジウムでは各分野の3人の専門家に真実をお話していただきます。

お問い合わせ ▶▶▶

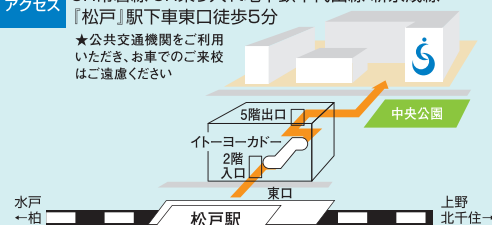
聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話: 047-365-1111 (大代)

<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujyo/jidou/>

アクセス JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線
「松戸」駅下車東口徒歩5分
★公共交通機関をご利用
いただき、お車のご来校
はご遠慮ください



イトーヨーカドー内エスカレーターを利用できます。
閉店時は正面の通路階段をご利用ください。